

広報  かるまい

Karumai

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

1

Jan. 2025
vol. 790



新春特別企画

松浦満雄

町議会議長



山本賢一 町長



2025年1月号では町村合併70周年記念新春特別企画として、山本賢一町長と松浦満雄町議会議長との特別対談を行いました。2024年を振り返って、そしてことし一年の町政について思いをお伝えし年頭のご挨拶とさせていただきます。

対談日 令和6年12月18日
会場 かるまい文化交流センター
「宇漢米館」

▼はじめに町民の皆様新年のあいさつをお願いいたします。

【山本町長】 新年あけましておめでとうございませう。昨年は、令和5年12月1日にオープンしたかるまい文化交流センター宇漢米館（以下「宇漢米館」）が、開館以来、町民の皆様をはじめたくさんの方々に利用いただきました。ことしもその流れを継続・発展させていきたいと考えています。

にとりまして本年が災害の無い、幸多き年となりますようお祈り申し上げます。ことしは任期4年間の折り返しを迎えます。各常任委員会等の構

成も改まり町民福祉の向上、新たな課題解決に向けて議員一同町の発展のため全力を傾注する決意を新たにしています。

宇漢米館来館者が6万人を突破

▼2024年を振り返って成果と課題について伺います。

今後の若者の定住にはずみがつくものと期待しています。

【山本町長】 宇漢米館は皆様に支えられ約1年間で利用者が6万人を超えました。また太陽光発電施設など再エネ関連の固定資産税が増えたことで、平成24年度と令和4年度との比較で町税全体がほぼ2倍に増えたことが日本経済新聞で報道されました。それと地域おこし協力隊が新たに4名増え現在は6名となり、

【松浦議長】 私もなんといいっても宇漢米館の開館です。建設費も多額で、町民に愛され活用されるか心配もありましたが、オープンングイヤーとして大成功だったと思います。これだけの方が来館されたことは、町民の皆様が文化活動を渴望していたんだなど。そして活発に活動されていることはすばらしいと思います。

【松浦議長】 新年あけましておめでとうございませう。町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様方

【松浦議長】 私は町村合併から3年後に生まれましたが、まさに軽米町の全盛期の生き生きと活況を呈した様子が思い浮かびます。私たちも偉大な先人に負けないよう、町の未来に希望を持ち、後世に素晴らしい古里を残すべく、共に誓い合う70周年にしたいです。全世界に繋がる光ファイバー網を活用してDX（デジタルトランスフォーメーション）を進め業務を効率化し、貴重な人材は町づくりに向けていければと思います。議会でも3年前にノートパソコンを導入し、本格的にペーパーレスでの議会運営がなされています。

町村合併から70周年

▼2025年は、1955年（昭和30年）の町村合併から70周年となります。

【山本町長】 昭和29年生まれの私とほぼ重なります。70年前を振り返ると、当時日本は高度経済成長の真っただ中でしたが、89年のバブル崩壊を機にデフレ経済に転換しました。成長とデフレを半分

【山本町長】 昭和29年生まれの私とほぼ重なります。70年前を振り返ると、当時日本は高度経済成長の真っただ中でしたが、89年のバブル崩壊を機にデフレ経済に転換しました。成長とデフレを半分

【山本町長】 昭和29年生まれの私とほぼ重なります。70年前を振り返ると、当時日本は高度経済成長の真っただ中でしたが、89年のバブル崩壊を機にデフレ経済に転換しました。成長とデフレを半分

音更町姉妹交流は40周年

▼昭和60年10月31日の音更町との姉妹町締結から40年を迎えます。音更町との関係をどう発展させていきたいですか。

【山本町長】 音更町に初めて足を踏み入れた本町出身の大川宇八郎翁をきっかけに始まった両町交流ですが、行政、経済、文化、人的交流が続けられ深い結びつきを築いてきました。私の息子も小学生の頃、宿泊研修に参加し音更の子供たちと交流を重ねました。この交流はすでに2世代目（子）になっていて、すぐに3世代目（孫）の交流になります。こういった流れを多世代、各業界の活発な交流に発展させていきたいですね。

【松浦議長】 議会でも初

当選時には互いに訪問交

流を行っています。議員同士でも、自分の子ども

の宿泊交流が一番の思い出だという話題になります。この接点を大切に一度だけの交流ではなく、中学、高校、あるいは二十歳など節目節目で交流する機会があれば、更に両町の結びつきが強まるのではないかと考えます。更に、町出身者も多い仙台市を拠点に「在仙軽米会」を立ち上げてはどうでしょうか。新たな展開に発展することを期待します。

▼開館2年目となる宇漢米館についてどのように考えていますか。

【山本町長】 昨年に引き続き来館者が益々増えるよう町を挙げて取り組ん

でいきたい。特に町民の皆様や民間事業者と連携しながら創意工夫を凝らしていきたいです。

【松浦議長】 これからは見るばかりでなく、町民自らが参加できる企画を増やしていつてはどうでしょうか。のど自慢大会などテレビ放映されると波及効果が高いと思います。そんな企画を期待しています。

▼宇漢米館2階の「いまるカフェ」についてはどう感じていますか。

【山本町長】 月平均500人ぐらい利用されているようです。最初の年とすれば、上出来ではないかと思っています。

【松浦議長】 行ってみたという声をよく聞きます。町民の皆さんに浸透してきていると感じています。同じ2階のテラスの外部分を使った企画も

町ぐるみで子育て環境の醸成を

▼子育て環境日本一をめざす取り組みについて、お伺いします。

【山本町長】 これまで学校給食費、保育料等の完全無料化を順次行い、昨年は1歳までのおむつ支給も始めました。2025年度に一新され

できれば、更に交流が多様に行われ、利用者が

層も変化して賑わいにつながると思います。



考えています。

【松浦議長】 人口減少や少子化の一番の要因は高い未婚率と考えます。令和5年度の出生数は18人でしたが、6年度はすでに上回っており少し安心しました。なんとか少子化問題を解決したいと思い人口減少・少子化対策調査特別委員会でも、天候に左右されない屋内型の遊戯施設、子供の遊び場の整備を検討いただきたいと提言しています。



近隣の八戸、二戸、久慈などからも遊びに来るような、子育て環境日本一をめざすにはぜひ必要な施設と考えます。

【山本町長】 経済的負担の軽減だけでなく、町ぐるみで子育て支援の機運を高めることも大事です。沖縄をはじめ子供の数が増えている地域は、子育てに対する地域の理解と連携、助け合う態勢があると聞きます。地域で育てる環境づくりも広

めていきたいです。

【松浦議長】 小学校PTAの親御さんとの懇談会では、子供が病気になったときに預けられる病児、病後児施設があると

若者定住対策に重点、具体策も

▼「人口減少対策」の一つとして立ち上げた若者定住促進プロジェクトについて伺います。

【山本町長】 町が重点的に取り組むべき課題としてプロジェクト事業に位置付け、昨年7月から検討を進めています。若者自らが住宅建設する場合の支援をはじめ宅地分譲、空き家住宅の活用、住宅家賃の支援につい

て、町有遊休地の活用とともに全庁挙げて具体策の検討を進めています。【松浦議長】 議会でも提

安心して子育てができるとの話がありました。実現のハードルは高いが、若い世代の声を、町では何とか実現に向けて検討してほしいです。

言ってきましたが、取り組み状況が見えなく歯がゆさを感じています。移住促進住宅は即座に少子化対策につながると考えます。最近、住宅の建築単価が高騰しています。が、町内でも若い人が住宅を求めていると感じます。まず第一歩を踏み出してほしいです。

【山本町長】 プロジェクト事業として検討を進めていますので、25年度中には予算化をしていきたい。具体的には軽米高校の旧寄宿舎の解体撤去も

進んでいますし、隣接する県所有の医師公舎跡地と一体的な活用を考えています。旧青少年ホームの解体撤去も今年度進めていますので、いずれ目に見える形にしていきたいです。

▼再生可能エネルギーは将来、どのように展開していくと考えますか。

【山本町長】 これまで太陽光発電事業を推進してきました。国では2040年度までに再生可能エネルギーの割合を全体の4割から5割まで増やすとしています。中でも風力発電が中心に増えていくと考えています。当町は風速7、8メートル程度あり、地形が比較的平坦であり風力発電にも適していると言われています。ただし自然環境の調査や災害等が惹起しないよう十分な配慮の

2025 年 農林業センサスにご協力ください



「農林業センサス」は、統計法に基づき実施する国の重要な統計調査で、5年ごとに実施されています。国の農林業や農山村地域の実態を明らかにする調査です。1月中旬ころから調査員が農林業の経営状況などの記入をお願いしに農林業関係者の皆さんを訪問します。回答内容は厳重に保護され、国や地方公共団体においても適正に管理されていますので安心して回答ください。ご協力をよろしくお願いします。

■対象

農林産物の生産を行うか委託を受けて農林業作業を行い、生産または作業に係る面積・頭羽数が一定規模以上の**農林生産活動を行う者**

■調査事項

世帯員の構成と就業状況、農地や山林の所有と利用状況、農林水産物の生産や販売状況、農作業委託の委託や受託状況など

かたり調査にご注意ください

農林業センサスをよそおった訪問者や不審な電話・メールなどにご注意ください。統計調査で金銭を要求すること、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号などを聞くことはありません。調査員は身分を証明する顔写真入りの調査員証を携行していますので、提示がない場合や不審な点を感じた場合は回答しないでください。



◀詳しくはこちらからご確認ください。

【問い合わせ】
政策推進課 (☎46-2115)

／ 地域おこし協力隊を募集中 ／

都市地域から意欲ある人を積極的に受け入れ、地域活性化や新たな産業の創出等を図るため、令和7年度採用の「地域おこし協力隊」を募集しています。軽米町出身の皆さんのUターンやIターン也大歓迎です！

■活動内容

- ①馬産地活性化プロジェクト～歴史ある馬産振興地の継承～
- ②地域農業の担い手育成プロジェクト～町内農家で技術を習得し任期満了後の就農を目指す～
- ③移住・交流促進プロジェクト～移住の推進と交流人口の拡大を！～
- ④「かるまいを元気に！」プロジェクト～隊員の知識や経験を生かした町おこし～

■委嘱任期

令和7年4月以降の委嘱日から令和8年3月31日まで（最長3年まで延長できます）

■応募締切

令和7年1月31日（金）までに政策推進課に書類を提出してください。提出書類は町ホームページをご覧ください。

※締め切り以降の募集については、お問い合わせください。



◀詳しくはこちらからご確認ください。

【問い合わせ】
政策推進課 (☎46-2115)

もと進めなければなりません。発電施設は、点検・管理等が必要となり雇用の確保にもつながります。当町では再エネ施設関連の固定資産税が、平成24年度から10年間で2・68倍となり、町税全体も2倍に増えていきます。これからの税収と雇用の拡大も図りながら再エネ事業を展開していきたいと考えています。

【松浦議長】 再エネ事業は山本町長の代名詞として、東日本一の発電規模とも言われています。CO₂排出削減の観点から、先ほどの固定資産税の税収を活用して、一般家庭に蓄電池と発電設備で電力自給できる環境作りも必要ではないでしょうか。町全体に再エネの恩恵が行き渡るような施策の展開を望みます。

再エネ利用でCO₂削減を

【山本町長】 もちろん再エネで発電した電気を地産地消することは大事なことです。東京都では各住宅に太陽光や蓄電池の設置を義務化するとしていますが、そこまでではなくても、電気の地産地消ができる環境づくりは考えていきたいです。

【松浦議長】 町民の皆様も地産地消に取り組んでいただきたい。国の補助等を活用しながら一般家庭にも広めていくことも大事です。太陽光発電設備も以前に比べれば価格が半分近くに下がっています。年に何世帯かずつでも太陽光発電導入に取

り組んでほしいですね。【山本町長】 再エネの構想はたくさんあります。事だと考えています。

農業への支援・後継者育成を

▼最後に町民の皆様にもメッセージをお願いいたします。

【山本町長】 軽米町は農業が基幹産業です。しかしながら資材、飼料、燃料等が高騰してコスト高となり年々経営が厳しさ



区の間場整備事業など営農環境を改善していきたい。昨年はホップ栽培に若い夫婦が地域おこし協力隊で着任しました。こうした方々を増やしなから、地元の農業後継者の方には親元就農支援制度を活用いただき、しっかりと農業を守り育てていきたいと考えています。

【松浦議長】 若者や女性の声を議会に取り入れるべく立候補を促す取り組みが全国で進められています。町議会でも一般質問を見直し一問一答方式を導入し、時間制限を設けました。政治に参加しやすい環境、町民の思いを反映した議会改革を今後進めていきます。

【山本町長・松浦議長】

本年が町民各位にとりまして輝かしい一年になりますようお祈りを申し上げます。



書き込みがされた台本

20年の時を経て：
「一月のほたる」は、平成17年1月30日に町文化協会50周年記念事業として旧軽米中央公民館で上演されています。江戸時代後期に軽米地方で起きた「稗三合一揆」がモデルの演目で、宇漢米館多目的ホールの新しいステージに合わせてアレンジし再演されました。文化協会所属の各団体が持つ技術や経験を活かし、一致団結して作り上げました。

70周年記念事業
町文化協会は、昭和29年に発足し今年度で70周年を迎えました。現在は19団体を、200名で活動しています。70周年記念事業とかるまい文化交流センターの開館を記念して、「宇漢米館の新しい大きなステージで再演したい」との思いから再演が決定。昨年7月の結団式には40人ほどしかいなかった参加者が、一人、また一人と町内外から集まり、総勢約120人になりました。

稽古が始まった8月
8月に入り、勤労福祉センターでの本格的な練習がスタートしました。火曜日と日曜日に役者の稽古、水曜日から金曜日にかけては小道具や大道具などの制作を行いました。役者の中には

初めて演劇に挑戦する人も多く、学校や仕事が終わってから練習は、台本を片手に台詞を覚えることから始まりました。稽古を重ねるごとに、台本にはたくさん書き込みが増えていきました。

本番に向けて
本番を目前にした12月。多目的ホールに大道具や小道具を運んで、エキストラも参加しての全体練習が始まりました。時間のない中、照明や音響と合わせての舞台稽古。場面同士をつなぐ部分や道具の配置、照明や音楽の入るタイミングなどを念入りに確認。笑顔がみえつつも、衣装を身に付けた役者の表情からは真剣さと、本番に向けた気持ちの高ぶりが感じられました。

あらすじ

舞台は今から190年前、江戸時代後期に東北地方で起きた「稗三合一揆」が題材となっている。第1幕では、軽米村での田植え作業や虫追い祭りなど、村民の生活が描かれている。豊作を願うも、天候不良で農作物が不作。そんな中でも八戸藩の野村軍記は厳しい取り立てを行っていた。

第2幕では、八戸藩に直接訴えようと、主人公の彦太郎を中心に一揆を決意する。近隣からも大勢人が集まり、八戸藩に立ち向かう。



勤労福祉センターでの稽古風景



かるまい文化交流センター開館記念
軽米町文化協会創立70周年記念

町民劇 一月のほたる

故郷の先人の偉業「稗三合一揆」に想いを馳せて
心をひとつに創り上げる町民劇 いざ！

町文化協会（堀米成嘉会長）の創立70周年とかるまい文化交流センター宇漢米館の開館記念として令和6年12月8日に町民劇「一月のほたる」が上演されました。会場には、7日に行われた公開リハーサルを含め約380人の観客が来場。笑いあり涙ありの舞台に惹きつけられ、役者の迫真の演技に惜しみない拍手が送られました。また、観客にもステイックライトが配られ、終盤には一緒にライトを振って劇に参加。会場が一体となり町民劇を作り上げました。





全力で取り組んだ町民劇

あき 役
本田 琉理さん

演劇をみるのが好きで、楽しそうだと思い参加しました。やるからには全力で取り組もうと練習に励みました。演技で力を入れたのは、悲しさや不安な気持ちが伝わるような自然な演技を心がけました。一つの作品をみんなで作り上げる面白さを味わうことができました。



20 年前の自分に勝つ

小兵衛 役
宮本 健一さん

前回の町民劇にも出演しました。正直、練習は仕事柄きつかった…。終わってみれば「やっぱりやって良かった。20 年前の自分に勝った！」と思っています。1 番感情を入れた野村軍記の手下の役人に引立てられるシーン。後でみたらすり傷が6つできていました。役人の皆さ～ん！大丈夫ですか～



新たな気持ちで

竹 役
大清水 健治さん

20 年ぶり、2 回目の町民劇でした。かるまい文化交流センター開館記念の掉尾を飾るということで、20 年前を懐かしく思い出しながらも新しい気持ちで臨みました。設備が整った多目的ホールでより迫力のある演出がなされたと思います。また、文化協会員をはじめ、一般の方々も熱心に参加してくださり、まだまだ軽米もいろいろなことができるんだと心強く思いました。



今も変わらず大切なこと

野村軍記 役
堀米 孝太郎さん

伝楽坐では 10 年で 20 回以上出演していますが、町民劇は初めての出演でした。20 年前の町民劇のビデオを見て、脚本・演出を担当した大清水さんの「もう一度、一月のほたるをやりたい」との思いに共感。史実を調べて作り上げた脚本も素晴らしく野村軍記役に手を上げました。練習では大清水さんのすごい熱意とパワーに毎回感心しました。絆や協調性、人のために行動することは今の時代でも変わらずに大切だということが観客の皆さんに伝わればいいなと思います。



皆さんの心の中に…

おえい 役
関口 華月さん（九戸村）

主演の彦太郎役の福田さんを始め、軽米町の皆さんに暖かく迎えられ、たくさん笑って過ごすことができた幸せで楽しい日々でした。皆さんの熱意に負けないよう、少しでも力になれるように頑張りました。私の役は彦太郎さんとの会話がほとんどだったのですが、少ないシーンの中でどう関係性を見せるのか悩みました。好きな人に向ける表情や仕草は、おえいちゃんの素朴さや純粋さを表現するために自然にしたいなと思い何回も考えました。最後の泣きながら想いを伝えるシーンは、演出から指導してもらいながら何とか出し切りました。

ご来場いただきましたたくさんの皆さん、本当にありがとうございました。「一月のほたる」が皆さんの心の中にいつまでもあり続けますように。



町文化協会
堀米 成嘉 会長

町文化協会 70 周年を迎えて

町民劇の取り組みは、各団体の意識のまとまりと連携を深め、町の歴史や文化を考える機会となり、ふるさと軽米への誇りや芸術文化活動の力の素晴らしさを改めて実感することにつながったのではないのでしょうか。

この1年は、かるまい文化交流センター宇漢米館の開館記念事業として、多彩な活動が盛大に行われて軽米町民の芸術文化活動の推進に大きな成果を上げることができました。これから、今日まで先人が培ってこられた芸術文化活動を継承し、新しい文化創造に向けて飛躍・発展していけるように精進いたします。

感動が再びよみがえる
12月7日の公開リハーサルには100人を超える人が来場しました。リハーサルをやり切った役者やスタッフからは本番への手ごたえが感じられました。細かい部分を再確認し本番を迎えます。
8日、公演当日のチケットは完売。会場は、町民劇を心待ちにしていた観覧者でいっぱいになりました。緊張を胸に開幕。個性豊かな演技に笑みがこぼれ、迫真の演技に引き込まれていきました。彦太郎を中心に一致団結し八戸藩に向かう場面では、舞台上の役者も観客も一体となって明りを灯し「二月のほたる」を作り上げました。公演を終え、会場は感動に包まれました。役者やスタッフだけでなく、たくさんの人の支えがあり1つの町民劇を完成させることができました。



公演を終えての感想を聞きました！



一生の思い出

彦太郎（軽米右近）役
福田 丈幸さん

初めての演劇で右も左も分からないまま練習に参加しましたが、20 年前にも出演したメンバーや近隣市町村から参加した演劇経験者の皆さんから多くのことを学びました。練習を重ねるごとに自信になっていき、最後の1 か月は楽しさも感じながら練習することができました。本番は緊張もほとんどなく、自分の納得のいくパフォーマンスができたと思います。中でも、一揆と軽米村を去るシーンは印象的で、感情移入しすぎて何年かぶりに泣きました（笑）それだけ本気で取り組めたのかなと思います。本番終了後、見に来ていただいた方々から「良かった」「すごかった」と声をかけていただきました。素直にうれしい一言です。満員の宇漢米館のステージで披露できたこと、一生の思い出になりました。ありがとうございました。



宇漢米館でもう一度

脚本・演出
大清水 文子さん

大きい宇漢米館のステージで「一月のほたる」を再演したい、劇の楽しさに触れてもらいたい、文化協会員みんなで1 つのことに取り組み 100 人の慰労会をしたいなどたくさんの思いがありました。稗三合一揆を調べるほどすごいことだと思い知らされ、できる限り台本に詰め込みたいと思いました。今回は舞台効果にも力を入れました。“間”をあけない、たたみ込むような場面の転換、順を追ってシンプルなストーリーに太神楽や緑舞会、大正琴との融合。役者の個性をそのまま使うようにしました。そして、最大の山場の一揆のシーン。役者、スタッフ、エキストラ、観客も全員で1 つでも多くの光を会場に灯すことこそこの町民劇の醍醐味だと思います。人集めも苦労しましたが、様々な皆さんの協力がなければ披露することができませんでした。本当にありがとうございました。

準備はお早めに

税の申告相談

所得税と町県民税の申告相談を受け付けます。申告が必要な人は期限内に申告してください。郵送での申告も可能です。

【問い合わせ】 税務会計課 課税担当 ☎46-4737

■申告が必要な人

令和7年1月1日時点で町内に住所があり、以下いずれか1つでも該当する人

- 給与所得以外の所得がある人
- 源泉徴収票の控除などに変更がある人（医療費控除を受けようとする人など）
- 年末調整をしていない人
- 国民健康保険に加入している18歳以上の人
- 所得がない人や扶養されている人で、所得証明などが必要な人
- ※該当する人は申告書が配布されていなくても会場にお越しください。
- ※咳・発熱の症状があるなど体調がすぐれない人はご来場をお控えください。
- ※感染症対策のため、手指消毒のご協力をお願いします。

■申告に必要なもの

- マイナンバーカード（または番号通知カードと顔写真付きの身分証明書）
- 収入額を確認できる書類（源泉徴収票、生命保険満期返戻金・解約返戻金、個人年金の支払い証明書など）
- 所得控除の内容を証明する書類（医療費通知書もしくは領収書、社会保険料・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書など）
- 申告書（町が配布した申告書を受け取った人のみ）
- ※以下該当する人は必要です
- 障害者控除を受ける人 → 障害者手帳
- 配偶者控除・扶養控除を受ける人 → 配偶者や被扶養者の収入を確認できるもの
- 事業所得のある人 → 記帳した帳簿類
- ※「農業次世代人材投資資金」「経営所得安定対策交付金」などは申告が必要ですので、通知書を持参してください。

感染症対策にもつながります

スマホやパソコンでの確定申告をご利用ください

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、いつでも自宅で申告書が作成できます。作成した申告書は郵送のほか、電子申告e-Taxでも提出可能です。感染防止対策として積極にご利用ください。



▲国税庁ホームページ

■申告相談の日程・会場

日付 2月12日(水)～3月17日(月)

時間 午前9時～11時、午後1時～3時
※3月2日（日）、3月17日（月）は午前のみの受け付けとなります。

会場 農村環境改善センター
事前に書類を整理してお越しください。

月	日	受 付 対 象 区							
2月12日	水	河北	上河南	下河南					
13日	木	沢田	松ノ脇	戸草内	下増子内	上増子内	七ツ役		
14日	金	百目金	八木沢	屋敷	市野々	小玉川			
17日	月	高柳	鶴飼	笹渡	百鳥				
18日	火	早渡	内城	山内駒木	和当地	竹谷袋	新井田	大清水	駒板
19日	水	山内大久保	上谷地渡	下谷地渡	平	中村	山口	貝喰	
20日	木	横枕	沼	観音林東	観音林西	観音林南	観音林北		
21日	金	下晴山	上晴山	下野場	上野場	高清水			
24日	月	休日申告相談（主に給与所得確定申告・還付・合算）							
25日	火	蓮台野	荒町	仲町					
26日	水	本町	大町	元屋町					
27日	木	下新町							
28日	金	上新町	桜山						
3月2日	日	休日申告相談（主に給与所得確定申告・還付・合算）※受付は12時までです。							
3日	月	向川原							
4日	火	門前	新光団地	緑ヶ丘					
5日	水	軽米駒木	新大鳥	長倉	下尾田	上尾田	小松	苅敷山	向高家
6日	木	高家	西里	外川目	君成田	上館	車門	東台	東
7日	金	萩田	岩崎						
10日	月	蜂ヶ塚	米田	牛ヶ沢	民田山	米田大久保	蛇口	大沢	
11日	火	上円子	下円子上組	下円子下組	板橋				
12日	水	山田	仲軽米	沢里					
13日	木	}	町内全域で申告を済ませていない人						
14日	金								
17日	月								
※ 3月17日（月）の受付は12時までです。									

- ・申告に必要な書類は、役場税務会計課と各出張所に準備してあります。
- ・どの日でも申告できますが、待ち時間を短縮できるよう地区割りにしていますのでご協力ください。（来場者数により、受付終了時間前に締め切る場合もあります）
- ・2月24日、3月2日の休日申告相談日は例年、大変混みあいますので時間に余裕を持って来場ください。

今後の自信につながった 上柿さんがアジア選手権で3位

11月13日から17日までインドのジャムシェドプルで開催されたスポーツライミングのユースアジア選手権で上柿銀大さん（軽米高3年）が3位に入賞しました。上柿さんは「今年度は思うような結果を残すことができなかったが、今回入賞したことで今後の自信につながった」と安心した表情で話しました。



山本町長に結果を報告した上柿さん（中央）と亀山校長（左）

支え合う体制が必要 県知事表彰を受賞

中里多喜男さん（大沢）が社会福祉事業功労者に対する岩手県知事表彰を受賞し、11月26日に山本賢一町長を表敬訪問しました。平成15年から民生委員・児童委員や町社会福祉委員として20年間勤務に精励しました。中里さんは「地域で支え合う体制が必要と思い活動してきた。皆さんに感謝したい」と話しました。



受賞の報告を行った中里さん（左）

惜しくも軽米VBSS準優勝 悔しさをバネに次こそは

11月30日と12月1日に行われた第41回岩手県小学生バレーボール育成大会が11月30日と12月1日に行われ、軽米VBSSが惜しくも準優勝となりました。試合に出場した6年生は「決勝戦では先に1セットを先取したが、2セット目からミスが目立ち自分たちの弱い部分が出てしまった」と悔しさをにじませました。



準優勝となった軽米VBSSのみなさん

更に上を目指して 中里さんと中島さんが上位入賞

12月1日に茨城県で開催された第22回全国高等学校アームレスリング選手権大会で、中里篤季さん（星槎国際高3年）が男子レフトハンド+70kg級で2位、中嶋健心さん（軽米高1年）が男子ライトハンド+70kg級で3位に輝きました。中里さんと中嶋さんは「更に上を目指して練習したい」と意気込みました。



結果を報告した中嶋さん（左から2人目）と中里さん（同3人目）

軽米中から3人が受賞 税についての作文コンクール表彰式

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した「税についての作文」の表彰式が軽米中学校で12月4日に行われました。東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を向屋敷蕉さん、岩手県納税貯蓄組合連合会優秀賞を福田皓瑛さん、町納税貯蓄組合連合会会長賞を宮川瑠菜さん（いずれも3年）が受賞しました。



前列左から宮川さん、福田さん、向屋敷さん

郷土料理技術のレベルアップ 手打ちそば作りを実施

郷土料理技術向上研修が12月6日に宇漢米館のキッチンスタジオで行われ、カシオペア食の技研究会会員など16人が参加しました。調理技術や伝承手法のレベルアップを目的に行われ、岩手県食の匠の浪岡良春さんの指導のもと、手打ちそばを作りました。参加者は汗を流しながら生地をこね、慎重に切っていました。



水分を均等にいきわたらせるように混ぜました

地域活動で絆を深める 加藤さんが奨励賞を受賞

第15回いっしょに読もう！新聞コンクール（一般社団法人日本新聞協会主催）で晴山小4年の加藤麻衣さんが奨励賞に選ばれました。住民がホタルの観察を続ける集落についての記事を読んで「私の地域でも山内神楽で絆を深めているのが似ていてこの記事を選んだ。受賞できてうれしい」と喜びました。



県コンクールで優秀賞を全国で奨励賞を受賞した加藤さん

きれいな川を守っていききたい 小軽米小に県知事感謝状

小軽米小学校に「水生生物による水質調査」実施団体の県知事感謝状が贈られ、12月24日に贈呈式が行われました。20年間、水質調査を行っている功績が認められての受賞です。兼田葵さん（4年）は「これからもきれいな川を守れるようごみ拾いなどをしていきたい」と意欲を高めました。



小軽米小学校では4年生が主に水質調査をしています

目標を胸に1年のスタート 元旦マラソンが宇漢米館で開催

新春恒例となる町陸上競技協会（工藤健三会長）主催の第38回軽米町元旦マラソンが1月1日に行われ、参加者45人が特設コースを走りました。工藤会長は「今年初の宇漢米館でのイベントなので元旦マラソンから盛り上げていきたい」とあいさつ。今年は宇漢米館をスタートし、1周約1kmのコースをそれぞれのペースで走り爽やかな汗を流しました。参加した宮守賀輝さん（一戸町）は「受験生になるので勉強と部活を両立するのは大変だけど、なんとか頑張って夢を叶えられるようにしたい」と意気込みました。マラソン終了後には、お菓子まきやきねと臼を使った餅つきが行われ、参加者はつきたての餅を頬張っていました。



寒さに負けず勢いよくスタートする参加者



お菓子まきにもたくさんの人が参加しました

堂々の演舞 県中文祭で山内神楽を披露

軽米中学校の3年生63人が11月22日にトーサイクラシックホール岩手で開催された第23回岩手県中学校総合文化祭で山内神楽の三坊荒神舞と三番叟を披露しました。同校の文化祭でも披露し、山内神楽保存会の指導のもと3か月にわたり練習に励みました。演舞が終わると会場からは大きな拍手が送られました。



三番叟を披露する生徒

笑顔になるような仕事を 軽高生が保育実習を実施

軽米高校3年の内澤瑠維さんと東山玲奈さんが花のまち軽米こども園で保育実習を行いました。実習は全3回実施され、12月18日の最終回ではそれぞれが選んだ紙芝居の読み聞かせを実演。東山さんは「今回の実習が自信につながった。今回の経験を活かして子どもたちを笑顔にしたい」と決意を話しました。



子どもたちに紙芝居を読む内澤さん

今年こそ火災ゼロに 令和7年消防団出初式

町消防団（小野寺祐治団長）による令和7年消防団出初式が1月5日、宇漢米館で行われました。消防団員220人と町婦人消防協力隊連絡協議会（工藤郁子会長）の隊員15人、消防車両30台が参加。多目的ホールでの式典では小野寺団長が「町の安心・安全を守るため教養や訓練に励み、ますますの予防活動に尽力してほしい。今年こそ火災ゼロの目標を達成できるよう精進してもらいたい」と訓示を述べ、消防団関係者の表彰のほか、観閲や機械器具点検などが行われました。

式典後には、宇漢米館から徳楽寺までラッパ隊の演奏に合わせ堂々とした分列行進を披露。町民に1年間の火の用心を呼びかけました。



宇漢米館での式典の様子



宇漢米館から徳楽寺までの分列行進

義援金50万円を被災地へ チャリティーショーを開催

WANDOの会（内城良子会長）歳末助け合いチャリティーショーが12月15日に宇漢米館で開催されました。町内外から集まった出演者が踊りや民謡などを披露し、観客を楽しませました。集められた募金や入場料の一部など50万円が能登半島地震の被災地へ義援金として贈られます。



義援金を手渡す内城会長（左）

服が赤いのはどうして？ 晴山保育園でクリスマス会

晴山保育園で12月24日、クリスマス会が開かれました。先生からクリスマスのお話を聞いた後にサンタクロースが登場すると、歓声が上がり拍手で迎えました。子どもたちはプレゼントの用意の仕方や服が赤い理由などを質問し、答えに興味津々。大きな袋に入ったプレゼントを手渡すとうれしそうに受け取っていました。



サンタさんにたくさん質問をしました

軽高だより
修学旅行に行ってきました

思い出を学校生活の糧に

軽米高校2学年は12月1日～5日の4泊5日で関西方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は京都の清水寺を訪れ、景色を堪能しましたが、あまりの観光客の多さに圧倒されました。2日目は京都で終日、班別研修でした。世界遺産である東寺、二条城など様々な神社仏閣をまわり、日本の歴史や文化に触れることができました。3日



たくさんの神様に歓迎されました



U S J で楽しい時間をすごしました



おいしい夕食で笑顔に

目は兵庫県の姫路城の美しさに感動し、随所に見られる城の仕掛けについてガイドさんから説明を受けました。午後は人と防災未来センター、神戸港震災メモリアルパークを訪れ、防災への意識を高めることができました。4日目の奈良の東大寺では多くの神様（鹿）の歓迎を受け、その後U S J で様々なアトラクションを体験しました。最終日は大阪の道頓堀を訪れ、名物のたこ焼きを堪能、天候に恵まれ無事に旅を終えることができました。楽しい思い出を今後の学校生活の糧にしていきます。旅行の成功に向け、サポートしていただいた全ての皆さんに感謝します。

学校の様子はこちらからもご覧いただけます



ホームページ



Note

「在京軽米会」は軽米町出身で関東近隣に住んでいる人が集まる会です。今年度で発足36年を迎えました。主な活動は①毎年11月の総会・交流会、②ふるさと発展への寄付、③岩手県人連合会との交流、④東京音更会、近隣ふるさと会との交流などです。在京軽米会ではいつでも会員を募集しています。町在住の人の参加も大歓迎です。

令和6年度在京軽米会を11月9日にアイトホテル日暮里ラングウッドで開催し、55人が参加しました。今回は来賓団体も多く、たくさんの方のつながりを育むことができました。お楽しみイベントの大抽選会やカラオケ大会はとても盛り上がり、最後は軽米音頭を踊り楽しい時はあつという間に閉幕となりました。これからも故郷を想う会員の情熱とつながりを更に強く保てるように、軽米町や近隣ふるさと会と情報交換に努めたいと思います。

軽米高校同窓会東京支部長・在京軽米会副会長
畑澤 康弘

在京
軽米会
だより

在京軽米会を
ご存じですか？



姉妹町だより
夢を追い続け、つかんだプロへの道

12月5日、プロ野球のオリックス・バファローズに入団した片山^{らいく}楽生投手（22）が音更町に凱旋し、家族で役場を訪れました。片山投手は「1年間戦い抜けるようこの冬にしっかりと体づくりをし、ひたむきな心を忘れずプレーしたい」と意気込みを語りました。小野町長は「今までどおり自分の信念を貫いてプレーしてほしい」と激励しました。なお、町内出身者のプロ野球選手は史上初です。

北海道音更町
十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約43,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、1985年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝葉月さん。



オリックス・バファローズに6位指名で入団した片山投手

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
セレモニーホール
玉泉院
TEL.0120-494-109

葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。

その人生に感謝を。

二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600
久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061
軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109
福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440
九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

一緒に働こう!!

プライフーズ株式会社 軽米工場
従業員募集
週1回から
短時間でも
構いません

従業員・アルバイトを募集しています。まずは、お気軽にお電話ください。
軽米町大字上館第20地割1-2 ☎46-2421 FAX: 46-4274 (担当: 和田まで)

未来に、まっすぐ。食卓に、まっすぐ。
Prifoods.
プライフーズ

News from library

図書館だより

おすすめの本を紹介するコーナー

■古館 和華さんお気に入りの一冊



古館 和華さん
(軽米中学校3年)

世界が私を消していく

著者名/丸井とまと (スターツ出版)

この本は、気になっていた「時枝くん」と席が近くなり、学校が楽しくなっていた「紗弥」という女の子が、些細なことがきっかけで友達との関係が悪化。さらにはSNSで悪口を書かれたと嘘を流され疑われ、追い詰められた紗弥は「消えたい」と強く願います。すると次の日、紗弥の存在は…。ファンタジー感と切ない恋を表現した非日常な学校生活×リアルな友人関係を感じられる物語です。また、SNSの恐ろしさも改めて感じられます。ぜひ読んでみてください。

児童書



せかいいちのおどろぼう

作/みきつきみ
絵/菅野由貴子 (文研出版)

たいくつしているどろぼうに「びんぼうも盗めるの?」と、貧しい村の少女が聞いた。「あさめしまえだ!」村の家に忍び込んだどろぼうは…

一般書



バイト・クラブ

著/小路幸也 (中央公論新社)

カラオケdondonの一室には暮らしのためバイトをする高校生が集まる、さながら部室だ。自分たちなりの青春を謳歌していたが、ある事件が起こりー

1月のテーマ図書展

開運あれこれ

新年を迎え、今年1年が良い年であるようにとの願いが込められた縁起物がちらほら。門松やしめ縄、おせちなど…。そこで、今月は様々な縁起物やその意味合い、開運スポットなどがのった本を用意しました。本を借りて、運氣アップを目指しましょう! 1月31日まで開催中です。



Dreams come true

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

平内 絢菜さん (晴山小学校6年)

自信と目標

私は、あと数ヶ月で晴山小学校を卒業します。この晴山小学校での思い出はたくさんありますが、中でも運動会が心に残っています。私は、副団長をつとめ、白組をひっぱっていきるようにながりました。一から応援歌を考え、下の学年がわかりやすいようにくふうして、白組が一つになるようにと願って本番をむかえました。本番では、大きな声をだせるように、練習の成果をいかしてがんばりました。なかなか積極的になれない私になしとげることができたので自信になりました。

春には、中学生になります。不安なことは多いけど、運動会での経験をいかして積極的に話しかけたり、発言して楽しくすごしていきたいと思います。



Unique poems

町文化協会 北光吟社 11月例会句会

折爪や宵闇纏ふ帰り道 長島 龍泉
夕暮れに流れるチャイム鳥渡る 大清水 雪子
障子貼り了へて安堵の日を得たり 中野 とき子
雨空に光りとどろき冬火花 丹下 美恵子
芭蕉忌やみちのくの旅平泉 君成田 美代子
小春日や兄弟揃ひ喜寿と古希 高橋 美智子
眼科医に謝して別るる冬紅葉 千葉 ふみ子
ひと呼吸肺にしみ入る冷気かな 川崎 郁子
ストーブで老の仕合はせしみじみと 三上 千栄女
いとこ煮の冬至かぼちのつく御膳 松村 英子

図書館ひろばのご案内

絵本の読み聞かせや紙芝居、折り紙などをします!

日時: 1月18日(土) 10:00~

場所: 宇漢米館2階 研修室2 (和室)

対象: 幼児、小学生

困ったら相談を

行政の困りごとは ありませんか？

行政相談は、行政相談委員が行政（国、県、市町村）や独立行政法人などの仕事・手続き、サービスなどについて要望や困っていることなどをお聞きし、その解決の促進を図る制度です。相談は無料で、相談内容や個人情報、秘密は固く守られます。

日 時▶1月22日（水）
10：00～12：00

行政相談員▶山田 元さん
相 談 場 所▶宇漢米館1階 相談室

【問い合わせ】
総務課総務担当（☎46-4738）

日本政策金融公庫からのお知らせ

お子さまの 教育資金をサポート

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

融 資 額▶子ども1人につき350万円以内
金 利▶2.65% 固定金利

返済期間▶18年以内

使 い 道▶入学金、授業料、教科書代、アパート等の敷金・家賃など

返済方法▶毎月元利均等返済

【問い合わせ】

教育コールセンター（☎0570-008656）
（☎03-5321-8656）



産業振興課からのお知らせ

みどり認定を受けましょう

「みどり認定」とは、みどりの食料システム法に基づき、化学肥料・農薬の使用低減や省エネなど環境負荷低減活動に取り組む農林業者を認定する制度です。環境負荷の低減に取り組む5年間の事業計画を作成し、県知事から認定を受けることで、税制や金融面の支援等が受けられます。

○認定を受けるメリット

- ・設備投資の際の税制優遇が受けられます
- ・さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます
- ・日本政策金融公庫の無利子優遇（農業改良資金）などの活用ができます

詳しくは下記のパンフレットや町ホームページをご覧ください。

みどり認定パンフレット



農業



林業



町 HP



【問い合わせ】

農業▶二戸農林振興センター農業振興課
（☎0195-23-9203）

林業▶二戸農林振興センター林務室
（☎0195-23-9204）

産業振興課農林振興担当（☎46-4739）

入会登録料を補助

i-サポで出会いを 見つけよう

"いきいき岩手"結婚サポートセンターのスタッフが出張して、「おでかけi-サポ」を二戸市に開設します。事前にi-サポ盛岡まで電話予約（☎019-601-9955）をお願いします。

会 場▶カシオペアメッセ・なにやーと
3階サクルルーム

開催日▶1/26、2/8、2/16
3/8、3/23

時 間▶12：00～15：00

【問い合わせ】

健康福祉課福祉担当（☎46-4736）



軽米町結婚新生活支援事業

新婚生活費用を 支援します

結婚に伴う費用（住居費、引越費用など）を支援します。

■主な対象世帯

①令和6年1月1日～7年3月31日に婚姻届を提出し受理された世帯

②夫婦ともに婚姻日における年齢が50歳以下の世帯

③対象の住居が町内にあり、当該住宅の所在地に住所を有している世帯

【お問い合わせ】

政策推進課移住交流担当（☎46-2115）



二戸消防署からのお知らせ

救命講習を開催します

みなさんに応急手当を覚えてもらうため公募型救命講習を行います。

○開催日程（講習時間 9時～12時）

開催予定日	講習内容
1月19日（日）	普通救命講習Ⅰ
2月16日（日）	普通救命講習Ⅰ
3月16日（日）	普通救命講習Ⅰ

○場所

二戸消防署大会議室
〒028-5711
二戸市金田一字上田面 300 番地 2

○募集人数

15人（最少催行人数2人）

○申込方法

電話、FAXでの申し込み

☎0195-26-8119 FAX0195-26-8121

メールでの申し込み

✉ni-qq01@fd-ninohe.jp

○申込期限

開催予定日の1週間前

までにお申し込みください。



申込用紙や
詳しい内容はこちらから

【問い合わせ】

二戸消防署救急救助係

（☎0195-26-8119）

ECCジュニア軽米教室



無料体験レッスン実施中！
（日曜日可）レッスン見学可

お問い合わせは...

教室HP: ecc かるまいで検索

教室Instagram: eccかるまいで検索

九戸郡軽米町大字軽米第12地割24番地6

Tel:0195-46-3419

相続税・贈与税・所得税・法人税・消費税

丸橋 弘
税理士事務所

お気軽にご相談ください

TEL:0178-32-0170
八戸市売市1-12-5

戸籍の窓口

11月1日～11月30日 ※敬称略

♡おしあわせに

{ 山本 正 啓 米田
田村 知 実 米田

●お く や み

高澤 昇	(71)	内城
菅原 寿悦	(49)	上館
日和 利見	(76)	小玉川
宮本 登	(78)	下円子下組
古川 マサ	(80)	向高家
鶴飼 トモエ	(91)	鶴飼
古館 孝一	(90)	高清水
榎澤 正義	(81)	上増子内
大澤 政志	(87)	外川目
畑澤 榮功	(78)	下新町
小笠原 トシ	(88)	上晴山
狄塚 一男	(86)	駒板
大館 ミネ	(91)	市野々

人の動き

令和6年11月30日現在(カッコ内は前月比)

人 口 7,934人 (－5人)

男性 3,891人 (－10人)

女性 4,043人 (+5人)

世帯数 3,652世帯 (+1世帯)

転入 13人 転出 2人

出生 0人 死亡 16人

火災・救急

11月末(カッコ内は1月からの累計)

火 災 0件 (2件)

救 急 21件 (382件)

交通事故

11月末(カッコ内は1月からの累計)

人 身 事 故 0件 (6件)

死 亡 者 0人 (1人)

物 損 事 故 2件 (121件)

休日当番医

(二)…二戸市 (軽)…軽米町 (一)…一戸町

日	急患 (午前9時～午後5時)	電話	歯科 (午前9時～正午)	電話
1/19	よこもり眼科クリニック(二)	22-2230	國香歯科医院(二)※石切所	23-2764
1/26	千葉耳鼻咽喉科医院(二)	26-8133	こしみず歯科クリニック(一)	33-4618
2/2	かわさきクリニック(二)	26-9900	ますだ歯科クリニック(二)	26-8282
2/9	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	沢藤歯科医院(二)	25-4002
2/11	松井内科医院(一)	33-2201	岩淵歯科医院(一)	32-2238
2/16	菅整形外科皮膚科クリニック(二)	23-7311	小野寺歯科医院(一)	33-3050

告 告 募 集

「広報かるまい」と「町ホームページ」への有料広告を募集しています。事業所・営業所のPR、イベントの告知などにご活用ください。

広報かるまい

1号広告(縦4.5cm×横8.5cm) 2号広告(縦4.5cm×横18.0cm)
○白黒 4,000円 ○白黒 8,000円
○カラー 6,000円 ○カラー 12,000円

町ホームページ

幅200px×高さ60px(10KB以下)
○1カ月あたり4,000円



詳しくはホームページをご覧ください。



イノシシとシカが共に生息する地域では、どちらも田んぼに侵入して稲を食べてしまいます。シカは田植え後の苗も食べますが、イノシシは苗をほとんど食べません。乳熟期を迎える頃から両者とも穂についた米を食べ始めます。特にイノシシは、消化の関係から乳熟から糊熟までの固くなっていない米を好んで食べます。また、イノシシは稲を地面に倒して食べることが多く、田んぼは踏み荒らされた様な酷い状態になります。

イノシシとシカでは稲穂の食べ方が異なるため、食べ跡もそれぞれ違ったものになります。イノシシは、穂を口に入れると口を動かして器用に粃米だけを穂から外して食べるため、跡には穂の軸が残ります。シカは、穂を口に入れると鋭利な奥歯で切って食べるため、跡には穂の軸があまり残り

方▶稲の食べ跡。穂の残りに注目



ません。私の同僚が調査したところ、イノシシだけの被害を受けた田んぼでは、食べられた穂の長さが元の長さの半分以下になることが14%と少なかったことに対し、シカの被害も受けた田んぼでは、食べられた穂の79%が半分以下の長さになっていました。その内の25%が穂元で切られており、穂が全く残っていない状態でした。

一見、稲が踏み倒された田んぼはイノシシだけの被害と思われがちですが、食べ跡を調べることでシカの被害も発生していることを確認できます。被害がイノシシだけの場合とシカとイノシシどちらの場合では対策に違いもあるため、食べ跡をしっかりと確認してみましょう。

※このコーナーは全12回のシリーズで掲載します

写真募集中

軽米町内の景色や風景、町内に住むお子さんの写真を募集しています。採用された方には図書カードをプレゼント！ご応募お待ちしております！



あ と が き



あけましておめでとうございます。今年も1年、広報かるまいをよろしく願います！新年が始まり慌ただしい日々が続いております…。昨年は「攻める1年に」と目標を立て、広報の締め切りを攻める1年になりました。ある意味、目標達成(笑)今年もバタバタと過ぎていくと思いますが、健康に気を付けつつ平和に過ごせたらいいなと思っています◎皆さんにとって幸多き1年になりますように♡

(ミニモニ。3号)

宮 沢 歯 科 医 院

健康は『健口』から	
診療科目	診療時間
一般歯科	9:00～12:00
口腔外科	14:00～18:00
※予約制・当日予約可	休診日
休診日	日曜・祝日
第1, 3土曜日	
宮沢歯科医院 軽米町	検索
九戸郡軽米町軽米8-105	
☎0195-46-2953	

相続 手続きや遺言書作成支援は
当事務所にお任せ下さい
行政書士
林かずよし事務所
行政書士 林 和純(岩手県行政書士会所属)
「何からすればいいか、わからない…」大丈夫です! お気軽にご相談ください。
TEL.090-7076-6484 岩手県九戸郡軽米町円子



軽米町のホームページ・SNSはこちらから！
フォローや友達登録よろしくお願いします。



軽米の輝き人 vol.45

One and only brilliance

「一月のほたる」舞台監督

山野下 誠

YAMANOSHITA MAKOTO

かるまい文化交流センター開館記念イベントを締めくくった軽米町民劇「一月のほたる」。多目的ホールの新しい舞台で、20年前の感動がよみがえった。山野下誠さん(高清水)は、舞台監督として町民劇を成功へと導いた。

二戸市民文士劇に出演していた友人に誘われて、大道具を手伝うことになった山野下さん。毎年手伝ううちに現場の雰囲気にも慣れ、舞台監督として活躍の場を広げた。舞台監督は、スケジュール管理や、役者、音響・照明、大道具・小道具それぞれが作ってきたものを組み合わせて一つの作品に導いていく役目を担う。

町民劇では、自身初めてとなる照明プランを一から作り上げた。講習会で照明機材の使い方や設置方法など基本から学び、各シーンでの舞台照明やムービングライト、ピンスポットライトを用いて観客に情景や感情が伝わる演出を考えた。最も苦労した部分は、一揆のシーンでたいまつを持つ人の流れに見立てたイルミネーションをどう出すか。位置の調整や設置の仕方、形を崩さず絡まないようにどう引き上げるか試行錯誤の日々が続いた。「大変なことも多いが、楽しみのの方が大きかった」と笑顔で振り返った。

12月8日。舞台には満員の観客からたくさんの拍手が送られた。「数か月間の稽古で達成感と高揚感を共有できたことがうれしい。多くの人の協力があって成功につながった」と出演者やスタッフも含め、関わった全ての人で一つの作品を作り上げられたことを喜んだ。「今回のような演劇が軽米でも根付いてもらいたい」と夢を膨らませた。